

森林整備事業 <公共>

【令和3年度予算概算要求額 149,158 (122,261) 百万円】

<対策のポイント>

森林資源の適切な管理と林業の成長産業化を実現し、国土強靱化や地球温暖化防止等にも貢献するため、**間伐や主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等を推進**します。

<事業目標>

森林吸収量2.0%以上（平成25年度比）の確保に向けた間伐の実施（令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均：45万ha）

<事業の内容>

<事業イメージ>

森林の多面的機能の発揮に向けた森林整備



利用間伐の実施



コンテナ苗による再造林

間伐等により、適切な森林管理と木材の利用促進を両立



幹線となる道の整備

路網ネットワークを形成するため森林作業道、林業専用道、林業生産基盤整備道をバランスよく整備



奥地水源林の整備による水源涵養機能の強化

1. 間伐や路網整備、再造林等

森林環境保全直接支援事業	37,451 (23,491) 百万円
森林資源循環利用林道整備事業	4,164 (2,051) 百万円
林業専用道整備事業	845 (1,017) 百万円
山村強靱化林道整備事業	500 (-) 百万円
林道施設PCB廃棄物処理促進対策事業	52 (-) 百万円

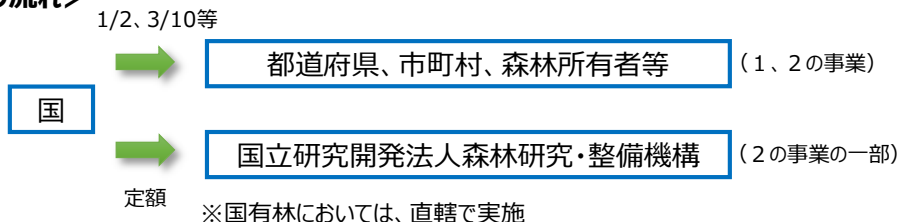
- ① **再造林や間伐等の森林整備**を推進することで、健全な森林を育成します。
- ② 森林資源が充実した区域等において、**路網をバランスよく整備**します。
- ③ **防災上重要な幹線林道の開設・改良**を支援し、林道の強靱化を推進します。
- ④ 林道施設の**PCB廃棄物の確実かつ適正な処理**を支援します。

2. 台風等の気象害を受けた被害森林や奥地水源林の整備

特定森林再生事業	2,537 (2,399) 百万円
水源林造成事業	27,898 (25,247) 百万円

- ① 気象害等の被害森林や奥地水源林等について、**公的主体による復旧・整備**を推進します。
- ② **重要インフラ施設周辺の森林整備**を支援することで災害の未然防止につなげます。

<事業の流れ>



激甚化する自然災害への対応【山村強靱化林道整備事業】

近年、豪雨・台風災害が激甚化・頻発化する中で、強靱で災害に強く災害時には代替路としての機能が確保される林道を早急に開設・改良

○事業対象

公道等に接続している林道（林道規程に基づく「幹線」）であって、地域防災計画等の警戒避難体制の整備に関する計画において代替路と位置付けられる予定のもの

林道の改良を一律1/2補助で実施
既設林道の強靱化を推進



災害時の代替路としての活用

災害に強い幹線林道の開設・改良

豪雨等への強靱化対策

暗渠工の設置

法枠工の設置

【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)